

●事業名

徳川家康公顕彰四百年記念事業

略称：家康公四百年祭

●事業趣旨

2015年の徳川家康公薨去四百年という記念の年に、家康公が礎を築いた「世界史上、例をみない平和国家」で「究極の循環型社会」、また「文化の成熟期」でもあった徳川時代を再考し、その知恵を未来の日本、そして未来の世界へ発信する事業とする。

併せて世界的な偉人である「家康公」について、ゆかりの地に住む市民・県民が改めて誇りを感じるにより、地域の魅力向上と活性化につなげていく。

●目的

徳川家康公が人生の2/3以上を過ごした(P11年譜参照)静岡県および静岡・浜松・岡崎の3市・3商工会議所が中心となり、家康公の御遺徳を全国、そして世界へ発信し、家康公に縁ある地域の観光・文化政策の上でも大きな効果を得ることを目的に記念事業を実施した。

●主催

徳川家康公顕彰四百年記念事業推進委員会

●会場

静岡市・浜松市・岡崎市および静岡県内周辺市町

●開催期間

2015年1月1日～12月31日  
※プレ事業は2012年度より実施



「家康公四百年祭」の推進に寄与し、その気運を高めると認められる地域・企業・民間団体の事業については、推進委員会の共催・後援名義、「家康公四百年祭」のシンボルマークを使用できるとし、全国に向けて「家康公四百年祭」を周知し、事業全体の盛り上げを図った。

●シンボルマーク

葵の御紋をベースとして、事業名をはっきりと明記し、ポスターやのぼり旗、各種商品などに使用できるようシンプルでデザインとした。

徳川家康公顕彰四百年記念事業



家康公四百年祭



2015年の徳川家康公薨去四百年という記念の年に、地域・企業・民間団体・行政などが実施する顕彰四百年記念事業(以下「四百年事業」という)を効果的・統一的に推進し、家康公の御遺徳や徳川時代の歴史的意義を全国、そして世界へ発信するため、2011年7月21日に「徳川家康公顕彰四百年記念事業推進委員会」(以下「推進委員会」という)を設立した。

設立後、2012年度から静岡商工会議所に事務局を置き、静岡県及び静岡・浜松・岡崎の3市3商工会議所が中心となり、数多くの四百年事業を実施するとともに、家康公ゆかりの市町と連携し、全国で実施される四百年事業を支援した。

推進委員会では、1月のオープニングセレモニー(静岡市)、4月の中間セレモニー(浜松市)、12月のエンディングセレモニー(岡崎市)などを各部会と共催で実施したほか、四百年事業への関心を高め、全国で実施される四百年事業に一体感が生まれるようシンボルマークを作成し、ポスターやチラシ、のぼり旗、ピンバッジなどに使用して事業の周知を図った。また、四百年事業の趣旨に賛同したサッポロビール(株)や麒麟ビール

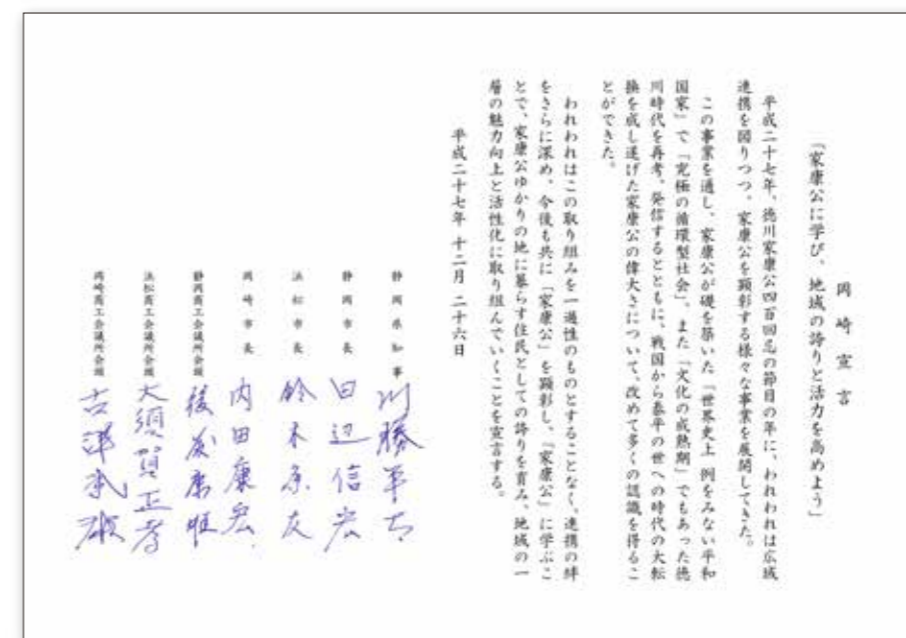
マーケティング(株)からは推進委員会に寄附をいただき、事業の拡充を図ることができた。

四百年事業は、新たな企画だけでなく、既存のイベントの内容を工夫したものなどもあり、プレ事業を含めて約500件の事業が実施された。

一年を通して絶えず全国で、文化・観光・産業など幅広い分野の四百年事業が実施された。地域・企業・民間団体・行政などがうまく連携し、またマスコミ各社が四百年事業を盛り上げてくれたこともあり、静岡県及び静岡・浜松・岡崎の3市および家康公ゆかりの市町の活性化の一翼を担うことができたと考えている。こうしたことから、推進委員会としては、その目的を十分に達成したと考え、2016年3月31日をもって解散することになった。

エンディングセレモニーでは、静岡県知事、静岡・浜松・岡崎の3市長3商工会議所会頭によって「今後はこれまでの取り組みを一過性のものとすることなく、連携の絆をさらに深め、共に家康公を学び、顕彰することで、家康公ゆかりの地に暮らす住民としての誇りを育み、地域の一層の魅力向上と活性化に取り組んでいく」こととする岡崎宣言が採択された。

岡崎宣言



岡崎宣言のとおり、四百年事業の取り組みを一過性のものせず、今後も地域の重要な地域資源の一つとして、静岡県、静岡・浜松・岡崎の3市および全国の家康公ゆかりの地域の魅力向上を図り、観光交流など地域活性化を推進するため、推進委員会の後継組織として「全国家康公ネットワーク」を設立し、家康公顕彰事業を実施していく。